

科目名 「 障害者歯科学Ⅱ 」

学年	学期	科目責任者
2	後学期	野本たかと

単位数	1
学習目標 (G I O)	障害者歯科学は、障害児者に対する歯科医療および地域歯科保健によって体型づけられている。障害者の地域生活支援体制が強化されている現在、地域歯科保健活動に携わる歯科衛生士として、障害児者の歯科医療に関わっていく必要がある。そのために障害児者の身体的・精神的・社会的背景ならびにそれらによって引き起こされる行動特性を十分に理解し、個々に適した口腔保健活動を担う歯科衛生士としての知識を修得する。
担当教員	野本たかと、伊藤政之、梅澤幸司、田中陽子、遠藤眞美、井樋加奈子
教科書	「最新歯科衛生士教本 障害者歯科」全国歯科衛生士教育協議会監修 (医歯薬出版)
参考図書	歯科衛生士のための 障害者歯科 第3版 緒方克也 監修 (医歯薬出版) スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 日本障害者歯科学会 編 (医歯薬出版)
評価方法 (E V)	定期試験(100 点満点)を評価点とする。定期試験は、各講義担当教員が出題し、配点の比重は各講義担当の講義回数に比例する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	何らかの配慮が必要な人々はこの歯科医療機関でも治療を受ける権利があります。全ての人々が末永く住み慣れた地域でのQOLが保たれた地域での生活を営むことを推奨している現在、すべての歯科衛生士が障害児者の口腔の健康増進を支援する義務があります。講義を介して地域歯科医療における歯科衛生士の役割を十分に認識することを念頭に受講してください。 オフィスアワー：月曜日～金曜日 8：30 ～ 17：30

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 10/1	精神障害と 歯科医療 その1 基本的事項	<p>【授業の一般目標】 精神障害者への適切な歯科医療提供のために必要な基礎的知識を修得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.臨床上接する機会の多い精神障害を引き起こす疾患の定義を説明できる (統合失調症, うつ病, 双極性障害, 気分障害など) 2.精神障害者の生活・社会環境について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 精神障害を引き起こす疾患の原因と障害を説明できる・60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して精神障害の社会的背景への影響について学ぶ</p>	遠藤
第2回 10/15	精神障害と 歯科医療 その2 口腔の特徴と歯科 治療における注意 事項	<p>【授業の一般目標】 精神障害者への適切な歯科医療提供のために必要な知識を修得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.精神障害者の口腔の特徴と口腔疾患・口腔機能を説明できる 2.精神障害者に対する歯科診療上必要な特別な配慮を説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 精神障害の原因と、能力・機能障害を説明できる・60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して精神障害の歯科診療上必要な配慮について学ぶ</p>	遠藤

<p>第3回 10/22</p>	<p>中途障害と歯科医療 その1 基本的項目</p>	<p>【授業の一般目標】 中途障害や難病により歯科診療上配慮が必要な人々の存在を認識し、基礎的な医学的知識と歯科的対応について修得する 【行動目標 (SBOs)】 1.厚生労働省指定難病の対象について説明できる 2.よく見られる中途障害の原因とその病態について説明できる (脊髄損傷、慢性関節リウマチ、Parkinson病、脊髄小脳変性症、筋委縮性軸索硬化症、高次脳機能障害、慢性代謝疾患など) 3.中途障害や難病の患者の現状と環境について説明できる 【準備学習項目・時間】 ヒトのライフサイクルと障害の発生を説明できる・60分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して必要な医学的知識を学ぶ</p>	<p>梅澤</p>
<p>第4回 10/29</p>	<p>中途障害と歯科医療 その2 口腔の特徴と歯科治療における注意事項</p>	<p>【授業の一般目標】 中途障害や難病により歯科診療上配慮が必要な人々の存在を認識し、基礎的な医学的知識と歯科的対応について修得する 【行動目標 (SBOs)】 1.中途障害や難病における口腔機能の特徴を説明できる 2.中途障害や難病の患者の歯科治療で配慮すべき項目を説明できる 【準備学習項目・時間】 ヒトのライフサイクルと障害の発生について説明できる・60分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して医学的知識を伴う口腔保健を学ぶ</p>	<p>梅澤</p>
<p>第5回 11/5</p>	<p>障害児者の 身体・心理発達</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者に対する歯科医療における適切な支援方法を修得するために、基本的な身体・心理発達およびその関連背景を理解する 【行動目標 (SBOs)】 1.発達段階および発達検査を説明できる 2.障害児者の問題行動と発達心理の関係性について説明できる 【準備学習項目・時間】 障害とは何か、また障害児者の社会的環境を説明できる・60分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して障害児者の心理学的背景を学ぶ</p>	<p>田中</p>
<p>第6回 11/12</p>	<p>歯科診療に対する 行動療法の応用1</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科診療場面における行動療法の意義を理解する 【行動目標 (SBOs)】 1.行動療法の基礎となる学習理論・行動療法について説明できる 2.歯科診療に行動療法を応用する意義と基本的考えを説明できる 3.障害児者の行動上の特徴について説明できる 【準備学習項目・時間】 行動観察法の意義と手段の適切な導入方法を説明できる・60分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して学習理論について学ぶ</p>	<p>伊藤政</p>

<p>第7回 11/19</p>	<p>歯科診療に対する 行動療法の応用2</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科診療場面にみられる障害児者の行動に対する適切な行動療法の適切な応用方法を修得する 【行動目標 (SBOs)】 1.薬物を用いない行動調整法について説明できる 2.薬物を用いた行動調整法について説明できる 【準備学習項目・時間】 行動理論に基づいた行動療法を説明できる・60分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して歯科診療場面における行動調整法の選択を学ぶ</p>	<p>伊藤政</p>
<p>第8回 11/26</p>	<p>障害児者に対する 歯科診療への導入</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者が歯科診療を受容できるような適切な導入方法を修得する 【行動目標 (SBOs)】 1.発達と歯科診療受容について説明できる 2.Fo x のgrab bagについて説明できる 3.歯科診療への導入方法の意義を説明できる 4.オリエンテーションの計画立案と実際の流れを説明できる 【準備学習項目・時間】 身体・心理発達と行動の関連を説明できる・60分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介し歯科診療受容に対する支援方法を学ぶ</p>	<p>伊藤政</p>
<p>第9回 12/3</p>	<p>診療補助とFour Handed Dentistry</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者に対する歯科診療時に行う適切な補助方法を修得するために、基礎となるFour Handed Dentistryについて理解する 【行動目標 (SBOs)】 1.歯科医療における人間工学と時間動作効率を説明できる 2.診療設備の配置について説明できる 3.術者・患者・介補者の位置関係を説明できる 4.適切な器具の受け渡し領域を説明できる 5.Four Handed Dentistryを円滑に行う方法を説明できる 【準備学習項目・時間】 歯科診療を受容するための支援方法を説明できる・60分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して歯科衛生士として必要な診療形態を学ぶ</p>	<p>野本</p>
<p>第10回 12/10</p>	<p>障害者の 歯科治療の特徴</p>	<p>【授業の一般目標】 スペシャルニーズがある人の歯科治療において適切な診療補助を行うために、多く見られる問題点と配慮すべき工夫や対応について理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科保存処置における問題点とその対応について説明できる 2. 歯周処置における問題点とその対応について説明できる 3. 補綴処置における問題点とその対応について説明できる 【準備学習項目・時間】 口腔の特徴と歯科治療の注意事項を説明できる・60分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して障害児者における口腔衛生管理の重要性を認識する</p>	<p>田中</p>

<p>第11回 12/17</p>	<p>障害者歯科医療におけるリスク管理</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者に適正で安全な歯科医療の提供をするために、障害児者の歯科診療の場面において発生しうる医療事故、感染拡大などを認識するとともに、リスク管理の重要性を理解し具体的な予防方法を修得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科診療場面のリスク評価方法と安全管理を説明できる 2. 医療事故の原因対応予防対策について説明できる 3. 歯科診療場面における感染リスクと感染予防対策を説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 障害に起因する全身疾患と行動上の特徴を説明できる・60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して危機管理能力を修得する</p>	<p>野本</p>
<p>第12回 1/21</p>	<p>障害児者のための口腔保健</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者の健康増進支援において歯科衛生士として包括的な口腔管理を行うことの重要性を理解し、具体的な計画立案と方法を修得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 障害児者における包括的な口腔管理(口腔ケア)を説明できる 2. 障害児者の介護者に対する口腔管理指導の意義を説明できる 3. セルフケアとプロフェッショナルケアについて説明できる 4. 障害児者の口腔管理の具体的な計画立案と方法を説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 障害児者の背景因子を説明できる・60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して障害児者への歯科衛生課程の手法を修得する</p>	<p>井樋 (野本)</p>
<p>第13回 1/28</p>	<p>摂食嚥下リハビリテーション 障害の病態と回復</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者に対する健康増進支援のための摂食嚥下リハビリテーションの重要性を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 障害児者における摂食嚥下機能の特徴について説明できる 2. 摂食・嚥下リハビリテーションを提供する意義を説明できる 3. 障害児者に対する摂食嚥下機能評価方法を説明できる 4. 摂食嚥下リハビリテーション法の実際について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 正常な摂食嚥下機能について説明できる・60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して発達期の障害児者に対する摂食嚥下リハビリテーションの重要性と具体的手法を学ぶ</p>	<p>遠藤</p>

<p>第14回 1/29</p>	<p>障害者地域歯科保健・医療の提供 その1 基本的事項</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生士として障害者のための適切な地域歯科医療保険ならびに医療の提供が実施できるように基本的な医療システムについて理解する 【行動目標（SBOs）】 1. 障害者への歯科医療を提供できる場の機能を説明できる 2. 医療連携が必要な障害者と環境因子を説明できる 3. 医療連携について説明できる 4. 訪問診療について説明できる 【準備学習項目・時間】 高齢者も含めた障害児者の社会環境について説明できる・60分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略（LS）】 講義を介して多業種との連携について学ぶ</p>	<p>梅澤</p>
<p>第15回 1/30</p>	<p>障害者地域歯科保健・医療の提供 その2 保険制度と周術期における医療連携</p>	<p>【授業の一般目標】 社会保障制度に基づいた地域障害者歯科保健・医療を適切に提供するための基礎的知識を修得する 【行動目標（SBOs）】 1. 障害者歯科医療におけるニーズとディマンズについて説明できる 2. 保険制度と歯科医療サービスの関係性について説明できる 3. 周術期における医療連携について説明できる 【準備学習項目・時間】 障害者福祉サービスと介護保険サービスを説明できる・60分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略（LS）】 講義を介して保険制度と周術期における歯科衛生士の役割を学ぶ</p>	<p>田中</p>